学校番号	313

令和8年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	(学)社会科演習	単位数	2単位	年次	3年次
使用教科書	なし						
副教材等	明解　歴史総合図説 シンフォニア （帝国書院） ズームアップ政治・経済資料 （実教出版） 新編 フォトグラフィア地理図説 （とうほう）						

1 担当者からのメッセージ(学習方法等)

世界各地の多様な習慣や価値観、自分を取り巻く環境(技術・法・観念等)への理解を深め、地球的課題を日本や自分自身の生活圏に結びつけましょう。
豊富な問いや資料から判断力や行動力を養い、社会的な見方・考え方を働かせながら考察できるようになりましょう。
また、地球的課題の解決に向けて、主体的に取り組む姿勢や持続可能な社会づくりに参画する方法を一緒に探りましょう。

2 学習の到達目標

【知識・技能】
社会の在り方に関わる現実社会の諸課題の解決に向けて、探究するための手掛かりとなる応用的な概念や理念などについて理解し、身に着ける
【思考・判断・表現】
理解した事項を結び付けて思考を深め、現代社会の課題解決への判断力を高める。また、諸資料や、説明者の話から、社会の在り方に関わる情報を適切かつ効果的に調べ、まとめ、表現する技能を身に着けさせる。
【主体的に学習に取り組む態度】
上記の目標の基礎として、社会問題への主体的かつ積極的にかかわろうとする態度、また自らの意見を持とうとする態度を身に着ける。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度

観点の趣旨	世界の生活文化の多様性の背景となるものや，世界の生活文化の相互関係を見いだすための，社会的見方・考え方を身につけている。	地形や気候，産業とその発展，歴史，宗教，法，技術の発展等に着目しながら，世界の生活文化の多様性がどのように形成されてきたのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。	激変する社会環境の中で、自身の周囲にある環境などを踏まえ、日本社会について及び自身の行動や進路について、主体的に追及し課題を見いだしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	変化の激しい社会	技術の発展と、働き方の変化	a:現代社会の目まぐるしい変化を理解している。 b:変化の激しい現代社会における人々の生活の変化を，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:現代社会激しい変化を踏まえ、日本社会の在り方や自身の進路などを，主体的に追究し，課題を見いだしている。	考査 ワークシート	考査 ワークシート パフォーマンス課題 振り返りシート	ワークシート パフォーマンス課題 振り返りシート 観察
2学期	国際理解と宗教と歴史	世界三大宗教と、諸地域の紛争	a:世界の宗教の違いや相互の関係性を理解している。 b:現在の紛争お宗教の関係性について，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:各宗教の考え方や行動様式を主体的に尊重し，多文化共生について主体的に追究し，課題を見いだしている。	考査 ワークシート	考査 ワークシート パフォーマンス課題 振り返りシート	ワークシート パフォーマンス課題 振り返りシート 観察

3学期	世界の国々と日本	世界の国と日本の違い	a:日本と世界各地の生活文化の共通点・相違点を生み出す要因に，地理的環境があることについて理解している。 b:衣食住などに着目しながら，日本と世界各地の生活文化にどのような共通点・相違点があるのかについて，多面的・多角的に考察し，表現している。 c:日本と世界各地の生活文化の共通点・相違点を，地理的環境を踏まえながら主体的に追究し，課題を見いだしている。	考査 ワークシート	考査 ワークシート パフォーマンス課題 振り返りシート	ワークシート パフォーマンス課題 振り返りシート 観察

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度